

再評価実施事業調書

番号	4	事業名	河川事業		路線又は箇所名等		二級河川作田川水系 作田川		
事業所管課		河川整備課		事業主体		千葉県			
事業化 年度	昭和 60年度	用地着手 年度	昭和 60年度	工事着手年度	昭和60年度	再評価の 理由	再々評価		
				工事終了(認可)年度	令和17年度				
費用便益比 B/C	5.0 (7.5)	総費用 (現在価値)	187億円 (13億円)	総便益 (現在価値)	932億円 (99億円)	基準年	令和 4年度	供用開始 年度	令和 17年度

※上段：全体事業費 下段（ ）：残事業費

【事業概要】

(目的)

作田川では、昭和40年代の洪水を契機に昭和51年度に河川改修に着手し、昭和60年から本格的に河道拡幅や橋梁改築・堰などの改築を行ってきたが、平成元年、平成3年、そして平成8年の台風により成東駅周辺市街地や上流部で甚大な浸水被害を受けたことから、上中流区間を対象とした緊急的な事業も実施してきた。

圏央道開通に伴って今後も市街化の進展が予想され、さらなる河川への流出量の増加が見込まれることから、早急に改修事業を概成させる必要がある。

(主な実施内容)

築堤、掘削、護岸、橋梁・堰改築

【事業の進捗状況】(R4年度末見込み)

	全体計画(億円)	投資事業費(億円)	残事業費(億円)	進捗率(%)
全体	98.2	80.3	17.9	82.0

【社会経済情勢等】

① 流域状況

作田川は、上流部が丘陵地と市街地、中流部は低平な農地と市街地、下流部は市街地と農地が混在し、河口は片貝漁港として利用されている、流域面積104k㎡指定延長18.2kmの二級河川である。市街化が進行しており、沿川の山武市市街地では、水害発生時の浸水被害や社会的影響が大きい。市街化進展や地球温暖化に伴って増加している集中豪雨など河川への流出量の増加が見込まれる昨今、河川改修事業の概成が急務である。

② 主な水害状況

- ・平成元年7月31日(台風17号) 浸水面積140ha 浸水家屋数136戸
- ・平成3年9月19日(台風18号) 浸水面積166ha 浸水家屋数24戸
- ・平成8年9月22日(台風17号) 浸水面積355ha 浸水家屋数338戸
- ・平成16年10月9日(台風16号) 浸水面積94ha 浸水家屋数82戸
- ・平成25年10月16日(台風26号) 浸水面積121ha 浸水家屋数78戸
- ・令和元年10月25日(大雨) 浸水面積167ha 浸水家屋数51戸

③ 投資効果

- ・浸水戸数704世帯(50世帯) ・浸水面積334ha(83ha) [裸書:全体事業、():残事業]

④ その他

- (計画)・二級河川作田川水系河川整備基本方針 H16.11.1策定、H27.6.3変更
- ・二級河川作田川水系河川整備計画 H19.2.22策定、H27.7.29変更
- (関連事業)・床上浸水対策特別緊急事業

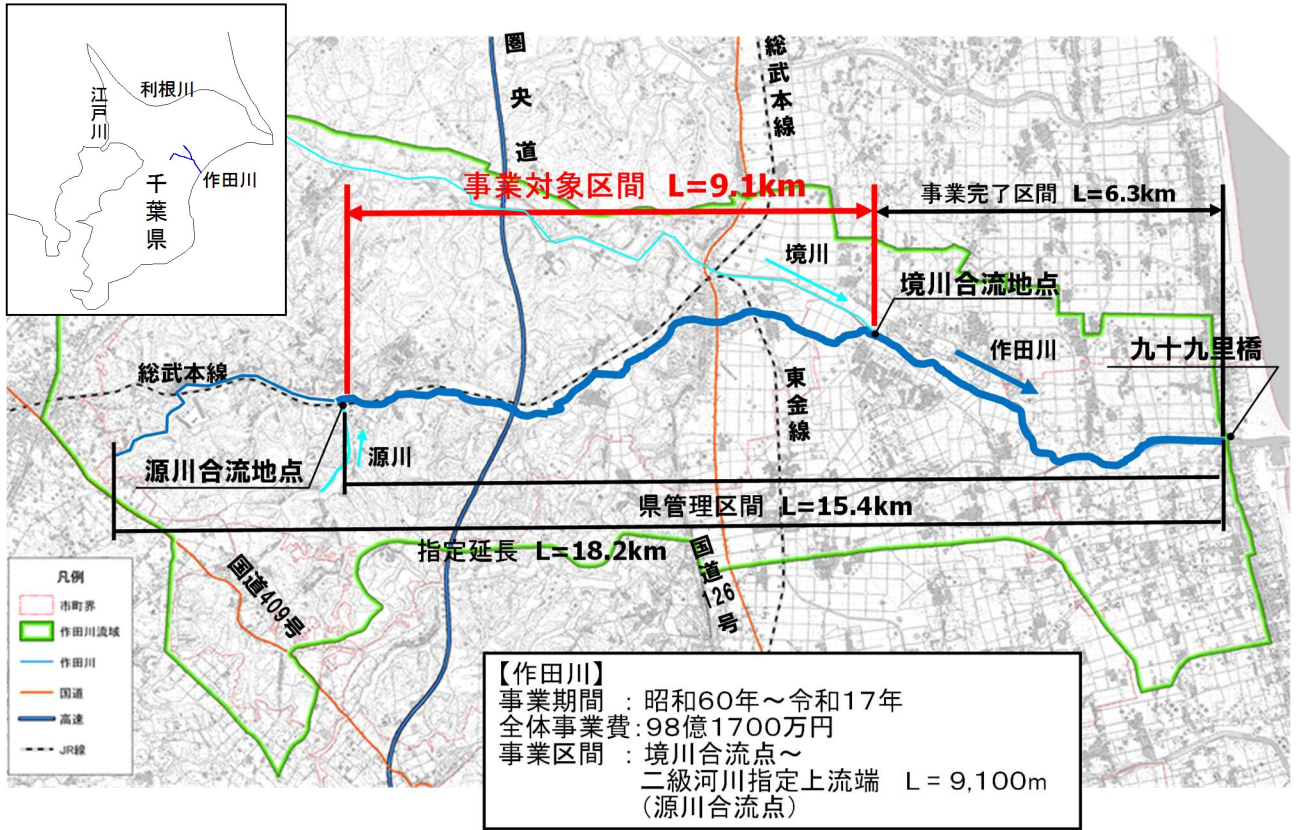
【対応方針(案)】

作田川流域では、浸水被害だけでなく通過交通の遮断などによる社会的影響も大きく、本治水事業への地元からの要望が強い。全体事業の費用便益(B/C)は5.0(残事業7.5)であり、事業の投資効果も見込まれることから事業を「継続」し、計画的な事業の推進を図る。

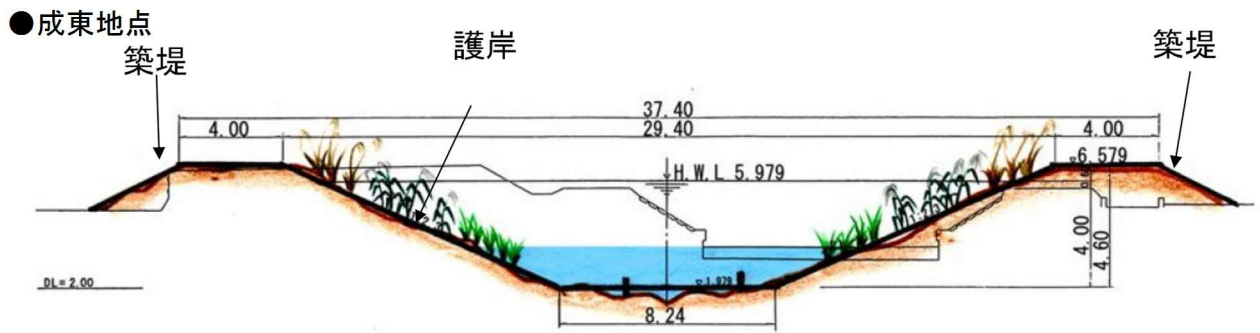
事業概要図

番号	4	事業名	河川事業	路線又は箇所名等	二級河川作田川水系 作田川
----	---	-----	------	----------	------------------

計画平面図



代表横断面図



再々評価事業に関する調書

番 号	4	事 業 名	河川事業	路線又は箇所名等	二級河川作田川水系 作田川	
事業化年度	昭和 60 年	用地着手年度	昭和 60 年	工事着手年度	昭和 60 年	
【再評価の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	平成 29 年度	供用開始年度	平成 47 年度	対応方針	継続	
B/C	2.8 [5.7]	総費用	154 億円 [28 億円]	総便益	435 億円 [159 億円]	
(※上段：全体事業 下段[]：残事業)						
再評価時の委員会の意見 及び当時の状況 ○継続することが妥当である。						
再評価時の進捗状況						
	計 画	進捗状況 (H29 末)				
事業費	98.2 億円	62.2 億円 (63%)				
うち用地・補償費	32.9 億円	22.0 億円 (67%)				
うち工事費等	65.3 億円	40.2 億円 (62%)				
【再々評価 (R4 年度) の概要】						
再評価実施年度 (基準年)	令和 4 年度	供用開始年度	令和 17 年度	対応方針	継 続	
B/C	5.0 [7.5]	総費用	187億円 [13 億円]	総便益	932億円 [99 億円]	
(※上段：全体事業 下段[]：残事業)						
現在の進捗状況						
	計 画	進捗状況 (R4 末見込み)				
事業費	98.2 億円	80.3 億円 (82%)				
うち用地・補償費	32.9 億円	30.8 億円 (94%)				
うち工事費等	65.3 億円	49.5 億円 (76%)				
再評価後の経過 及び 処理状況	平成 30 年 3 月 千葉県 県土整備公共事業評価審議会 再々評価 (継続が妥当である)					